

第 28 期グループ学習サマリー

コース・専攻：総合芸術コース美術・工芸専攻

グループ名：OUT MY WINDOW

メンバー：山田浩子、寺尾隆志、瀬戸康雄

- ◎趣旨：1&2年生に学んで得た陶芸と絵画についての知識と技術の両方を生かし、「陶芸と絵画のコラボレーション」をテーマとして設定した。具体的にはB5サイズの陶板に名画や世界遺産を描写する。
- ◎目的：制作した陶板の有意義な活用として、医療施設等に寄贈し展示していただくことで、施設内におられる方達に少しでもなごみの時を感じていただくことで、シルバーカレッジのモットーである、「再び学んで他の為に」を実践したいため。
- ◎調査方法：フィールドワークとして3カ所を訪問し陶板を中心とした陶芸と世界の名画を鑑賞して、「百聞は一見にしかず」を身をもっての体験を通し、幅広く知識習得に努めた。制作にあたっては諸先生方やサポーター他の方々からのご指導と、「焼き物実践ガイド」等の文献を参考にした。
- ◎活動内容：大分類として、粘土→土練り→成形→乾燥→素焼き→下絵付け→釉掛け→本焼きの工程に従って、制作を進めた。粘土は絵が良く映える半磁土と上信楽粘土を選び、荒練りと菊練りをしっかりして、7mm厚の粘土板をB5サイズにカットし、厚さ5mmX20mm幅の額を四周に配し、乾燥に十分な時間を掛け、素焼きを経て名画と世界遺産の下絵付け、石灰3号の釉掛けをし最後の本焼きとした。乾燥段階での割れが多く発生したが、原因としては①壁掛け用2カ所の穴開けによるストレスを与えた②額を別途作り本体へ接着したが不具合があった③乾燥が不十分であった等が考えられる。割れを解決する対策として、本体と額を一体型とし、細心の注意をもって穴開けを行い、当初決めた日数より乾燥期間を大幅に延長し、時間が許す範囲で乾燥に努めた結果、大きく改善をみる事ができた。

